

## 町田市の観光の近年の取り組み

---

|             |   |
|-------------|---|
| 2008 年 2 月  | 『町田市観光資源調査事業報告書』発行  |
| 2008 年 3 月  | 市制 50 周年を機に町田さくらまつりを拡充  |
| 2009 年 2 月  | 『観光・コンベンション事業策定調査報告書』発行<br>⇒町田市の観光・コンベンションの考え方を明らかにするとともに、観光・コンベンション協会を設立していくために必要な組織の目的、組織のあり方、必要なステップを調査・分析し、今後数年間の事業計画としてとりまとめた。 |
| 2009 年 2 月  | 『まちだフットパスガイドマップ』発行  |
| 2009 年 4 月  | 町田市観光コンベンション協会設立<br>⇒協会の主な事業（ホームページ、観光マップ等での情報発信<br>町田ツーリストギャラリーの開設、まちだ観光案内人の養成、ガイドウォークツアーや体験ツアーの実施など）                              |
| 2010 年 11 月 | 町田時代祭り初開催   |
| 2011 年 4 月  | 『まちだフットパスガイドマップ 2』発行  |
| 2011 年 12 月 | 町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」策定<br>⇒「魅力にあふれ、何度でも訪れたくなるまちをつくる」を基本政策の1つに位置付ける。（観光イベントの振興、シティセールス活動、小野路宿里山交流館の開館）                               |
| 2013 年 9 月  | 小野路宿里山交流館開館   |
| 2014 年 5 月  | 町田シバヒロ開所  |
| 2014 年 6 月  | 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画策定  |
| 2016 年 7 月  | 中心市街地まちづくり計画策定  |

## 策定の背景

---

### (1) 国・都の動向

#### ●国の動き

- ・「明日の日本を支える観光ビジョン」（2016.03）を策定。

（概要）

「観光は、真に我が国の成長戦略と地方創生の大きな柱である」との認識の下、3つの視点を柱としている。

- ・ 観光資源の魅力を高め、地方創生の礎に
- ・ 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に
- ・ すべての旅行客がストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

#### ●東京都の動き

- ・「東京都観光産業振興プランー世界の観光ブランド都市・東京をめざしてー」（2013.05）を策定。

（概要）

洗練された東京の魅力を磨き上げ、強いブランド力を築くことにより、「観光ブランド都市・東京」「何度訪れても楽しめる東京」を実現し、5年後には年間1,000万人の外国人旅行者の誘致を目指す計画としている。

また、国をはじめ他の地域や都市との連携を着実に進めるほか、地域の活性化に向けた地域の自立的かつ持続的な取組を積極的に支援していくこととし、観光産業振興に向けた5つの戦略を掲げている。

- ・ 外国人旅行者誘致の新たな展開
- ・ MICE 誘致の推進
- ・ 魅力を高める観光資源の開発
- ・ 受入環境の充実
- ・ 人材の育成・活用

### (2) 町田市を取り巻く現状と課題

（現状）

- ① 経済情勢の変化や観光スタイルの変化によりニーズが多様化し、その土地ならではの観光を求める志向が高まっている。
- ② 町田市民であることの誇りが近隣市と比較すると下回っている。
- ③ ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、外国人を含めた観光交流人口の増加が見込まれる。

（課題）

- ① 町田市の魅力ある観光資源を地域と共に更に磨き上げるような取組を行う必要がある。
- ② 来訪者の満足度を市民が感じとることで、市民が町田の良さを再認識し誇りが持てるような取組を強化する必要がある。
- ③ 交流人口を増加させるための受け入れ体制を強化する必要がある。